スノーブロワ、47、54、59、60 in

JOHN DEERE

取扱説明書

スノーブロワ、47、54、59、60 in

OMLVU35936　B6 版　(JAPANESE)

John Deere Augusta Works
輸出版
PRINTED IN U.S.A.

取扱説明書の使用

作業を行う前に、この取扱説明書全体、特に安全に関する情報をお読みください。

この説明書は、お使いの機械の重要な部分です。すべてのマニュアルを手の届きやすい場所に保管してください。

作業機のオペレータマニュアルとともに、アタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全および操作関連の情報を参照し、アタッチメントを安全かつ正しく整備し操作してください。

アタッチメントのマニュアルに「作業機の準備」というセクションが含まれている場合は、アタッチメントを取り付ける前にお使いのトラクターまたは車両に対して何らかの準備が必要となります。このマニュアルの「組み立ておよび取り付け」のセクションには、お使いのトラクターまたは車両にアタッチメントを組み立てて取り付けるための情報が記載されています。お使いのアタッチメントに必要な調整やルーチン作業の整備を行う場合は、「整備」のセクションを参照してください。

この装置の組み立て、取り付け、または操作に関するお問い合わせは、お近くの John Deere 取扱店にご連絡いただくか、John Deere Customer Contact Center (1-800-537-8233) にお電話ください。

John Deere 製アタッチメントの保証に関する情報は、お使いの John Deere 製トラクターまたは車両に付属している保証書でご確認いただけます。

AL61114,0000712-40-13APR21

目次

ページ

製品識別
識別番号の記録 00-1

安全
機械の取扱説明書の安全に関する情報の確認 5-1
シグナルワードについて 5-1
トレーニング 5-1
準備 5-1
作業 5-2
機械の安全な駐車 5-2
詰まった排出シュートの清掃 5-2
メンテナンスと保管 5-2
安全メンテナンスの実行 5-3
可動部品によるけがの防止 5-3
障害物との衝突によるけがの防止 5-3
回転している駆動系の回避 5-3
高圧流体の回避 5-4

安全ラベル
安全標示ラベルの交換 10-1
飛散物によるけがの防止 10-1
回転オーガによるけがの防止 10-1
回転ブレードによるけがの防止 10-2
回転しているドライブラインに近づかない 10-2
操作不能 - ガードがありません 10-2

スノーブロアの組み立て
スノーブロワへの駆動軸の取り付け 15-1
シュートの取り付け 15-1
シュートのケーブル取り回し 15-2
ケーブルシールドの取り付け 15-3
ドリフトブレードの取り付け 15-3
A フレームマウントの取り付け 15-3

トラクターへのスノーブロワの装着
トラクターの準備 20-1
A フレームによる前部ヒッチへの作業機の取り付け 20-1
トラクターへの駆動軸の連結 20-1
油圧ホースの接続 20-2

トラクターからのスノーブロアの取り外し
パーキングスタンドの設置 25-1
油圧ホースの取り外し 25-1
トラクターからの駆動軸の取り外し 25-2
A フレーム付きフロントヒッチからの作業機の取り外し 25-2

保管
アタッチメントの保管 26-1

ページ

操作
スノーブロワの上昇 / 下降 30-1
排出シュートの操作 30-1
スパウト調整 - 手動 30-1
スパウトの調整 - 電動 30-1
スキッドシューの調整 30-1
パーキングスタンドの使用 30-2
スノーブロワの操作 30-2
スノーブロワの輸送 30-3

整備
点検間隔 35-1
グリース 35-1
トランスミッションオイル 35-1
オーガギヤケースのオイルレベルの点検 35-1
スノーブロアギヤケースのオイルレベルの点検 35-2
ギアケース起動軸の潤滑 35-2
排出シュートとケーブルプーリーの潤滑 35-2
オーガシャフトの潤滑 35-3
駆動軸の潤滑 35-4
せん断ボルトの交換 35-4
排出シュートのケーブルの交換 35-4
スキッドシューの交換 35-6
スクレーパーブレードの交換と回転 35-7
ギヤケース通気穴の清掃 35-7

仕様
スノーブロワの仕様 40-1

整備のお問い合わせ
John Deere™ 品質 45-1

本文書は翻訳版です。 このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、
発行時の情報に基づいています。 予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2026
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.
Previous Editions
Copyright © 2018, 2021

製品識別

識別番号の記録

スノーブロワは前部ヒッチ装備のコンパクトユーティリティティトラクターで使用するために設計されています。このスノーブロワは、機械モデル 1023E、1025R、2025R、2032R (シリアル番号 GH100001 ～)、2038R、3120、3320、3520、3720、3033R、3038R、3039R、3045R、および 3046R に取り付けることをお勧めします。

他の機械に取り付ける前に John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

購入情報の記録

購入日：

____

販売店名：

____

販売店電話番号：

____

製品シリアル番号：

____

PR59899,00005A1-40-13JAN21

安全

機械の取扱説明書の安全に関する情報の確認

その他の安全情報については、お使いの機械の取扱説明書に記載されている安全な取り扱いに関する一般的な注意事項をお読みください。

TH84124,0000132-40-22MAY13

シグナルワードについて

⚠ 危険

⚠ 警告

⚠ 注意

TS187—40—20JUN12

危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。

警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。

注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL-40-05OCT16

トレーニング

- この装置を操作する前に、機械およびマニュアルに表示されているすべての注意事項をよく読み、理解し、従ってください。装置のコントロールと適切な使用方法を熟知してください。装置の停止方法およびコントロールの迅速な解除方法を確認してください。
- 絶対に装置を子供に操作させないでください。絶対に適切な操作手順を理解していない成人には操作させないでください。
- 作業区域には、特に小さい子供など、絶対に人を近づけないでください。

TH84124,0000134-40-22MAY13

準備

- 装置を使用する場所を入念に点検し、ドアマット、そり、ボード、ワイヤ、およびその他の異物をすべて取り除いてください。
- エンジンを始動する前に、すべてのクラッチを解除し、ニュートラルにシフトしてください。
- 適切な冬用の衣服を着ていない場合は、装置を操作しないでください。可動部品に巻き込まれる可能性があるゆったりとした服は着用しないでください。滑りやすい面でも立ちやすい靴を着用してください。
- 燃料は非常に可燃性が高いので、注意して取り扱ってください。
  a. 認定された燃料容器を使用してください。
  b. 運転中のエンジンや高温のエンジンには絶対に燃料を追加しないでください。
  c. 十分に注意して屋外で燃料タンクに補給してください。絶対に屋内で燃料タンクに補給しないでください。
  d. 車両内またはトラックやトレーラーのプラスチッククライナー付き荷台の上では絶対に容器に注入しないでください。燃料を補給する前に、必ず車両から離れた地面の上に容器を置いてください。
  e. 実用的な場合は、ガソリンで駆動される装置をトラックやトレーラーから取り外して、燃料を地上で補給してください。これが不可能な場合は、ガソリンディスペンサーノズルからではなく携帯容器でこれらの装置に燃料を補給してください。
  f. 燃料補給が完了するまで、ノズルを燃料タンクの縁や容器の開口部に接触させたままにしてください。ノズルを開放状態にロックする装置は使用しないでください。
  g. ガソリンキャップをしっかりと元の位置に戻して、こぼれた燃料を拭き取ってください。
  h. 燃料が衣服にこぼれた場合は、すぐに着替えてください。
- コレクタハウジングの高さを調整して砂利面や砕石面から離します。
- エンジン運転中は、絶対に調整を行わないでください (メーカーが特に推奨している場合を除く)。
- 雪かきを開始する前に、屋外温度に合わせてエンジンと機械を調整してください。
- 操作中や調整 / 修理中は、安全めがねや保護めがねを着用して、機械から飛ばされる可能性がある異物から目を保護してください。

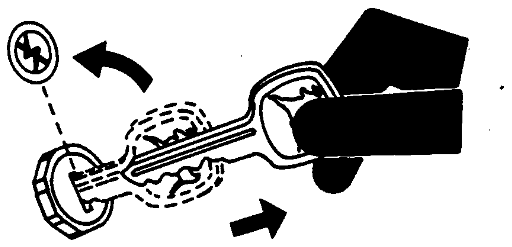
UP00731,00002DF-40-18FEB15

作業

- 回転している部品の近くまたは下に手足を入れないでください。排出口には絶対近づかないでください。
- 砂利の車道、歩道、または道路上で操作する場合や、これらを横断する場合は、十分注意してください。隠れている危険や交通に警戒を怠らないでください。
- 異物に当たった場合は、エンジンを停止して、スパークプラグワイヤを取り外すか、バッテリーを切断します。スノーブロワを再始動して操作を行う前に、スノーブロワを十分点検し、損傷があれば修理してください。
- ユニットが異常に振動する場合は、エンジンを停止してただちに原因を調べてください。
- 操作位置から離れてコレクタやインペラハウジング、または排出ガイドの詰まりを除去する前に、および修理、調整、点検を行うときは、エンジンを停止してください。
- 機械を放置するときは、パワーテイクオフを解除し、アタッチメントを下げて駐車ブレーキをロックし、エンジンを停止してキーを抜いてください。
- 清掃、修理、または点検時は、コレクタやインペラおよびすべての可動部品が停止していることを確認してください。誤って始動しないように、スパークプラグワイヤを外してプラグから離してください。
- エンジンの始動時および屋内外でのスノーブロワの輸送時を除き、屋内ではエンジンを運転しないでください。外に面したドアを開けてください。排ガスは危険です。
- 斜面では除雪せず、上下に移動してください。斜面で操作するときは十分注意してください。急斜面では除雪しないでください。
- 適切なガードやその他の安全保護装置を所定の位置に取り付けて、スノーブロワを操作してください。
- 絶対に人にまたは財産が損傷する可能性がある区域に排出の方向を向けないでください。子供や他の人を近づけないでください。
- 速すぎる速度で雪かきして、機械能力に負荷をかけすぎないでください。
- 滑りやすい面では、絶対に高い輸送速度で機械を操作しないでください。後退時は、背後を見て注意をしてください。
- 他の人を同乗させないでください。
- 絶対に周囲の人に向けて直接排出させたり、ユニットの前に人を近づけたりしないでください。
- スノーブロワを輸送する場合、または使用しない場合は、コレクタやインペラへの動力を解除してください。
- スノーブロワのメーカーが承認したアタッチメントや付属品 (ホイールウエイト、カウンターウエイト、キャブなど) のみを使用してください。
- 視界が良好ではない場合、またはライトがない場合は、絶対にスノーブロワを操作しないでください。

PR59899,00005AA-40-13JAN21

機械の安全な駐車



TS230—UN—24MAY89

機械で作業をする前に：

- すべての装置を地面に降ろします。
- エンジンを停止して機械を固定します。装備されている場合、機械から離れる無人になる前に、キーを抜いてください。
- バッテリーのアースストラップの接続を外します。
- 「操作禁止」タグを運転席にかけてください。

DX,PARK-40-25NOV25

詰まった排出シュートの清掃

- スノーブロワに関連するけがの最も一般的な原因は、排出シュートの内側にある回転しているインペラに手で触ることです。絶対に手を使って排出シュートを清掃しないでください。
- シュートを清掃するには：

  a. エンジンを停止します。
  b. 10 秒待ってからインペラの刃の回転が停止していることを確認します。
  c. 必ず手ではなく清掃用の工具を使用してください。

TH84124,0000138-40-06JUN13

メンテナンスと保管

- せん断ボルトやその他のボルトが緩んでいないか頻繁に点検し、装置が安全な動作状態であることを確認してください。
- 絶対に燃料を燃料タンクに入れた状態で機械を熱湯、暖房器、衣類乾燥機などがある建物内に保管しないでください。囲いの中に保管する前にエンジンが冷めるのを待ってください。
- スノーブロワを長期間保管する場合は、必ず重要事項について取扱説明書を参照してください。
- 必要に応じて安全ラベルや指示ラベルをメンテナンスするか、交換してください。

- 雪かきをした後、機械を数分間運転して、コレクタやインペラの凍結を防止してください。

TH84124,0000139-40-06JUN13

安全メンテナンスの実行

- 資格を備え、訓練を受けた成人に限り本作業機の整備を行ってください。
- 作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。
- 危険な一酸化炭素が溜りやすい狭い空間でエンジンを動作させないでください。
- 作業機やアタッチメントが動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。安全装置を所定の位置に取り付け、良好な作動状態に維持してください。金具の締め付けを維持してください。
- 手、足、衣類、装飾品、長髪を可動部品から遠ざけて、巻き込まれないようにしてください。
- アタッチメントを整備する前に、アタッチメントを地面か既存のアタッチメントの機械式ストッパまで完全に降ろしてください。すべての電源を切り、エンジンを停止してください。パーキングブレーキをロックし、キーを抜きます。機械を冷ましてください。
- 修理を行う前に、バッテリーやスパークプラグの配線 (ガソリンエンジンの場合) を外してください。
- 作業機やアタッチメントの整備を行う前に、油圧部品やスプリングなどのエネルギーを蓄えている部品から慎重に圧力を解放してください。
- アタッチメントまたは切断装置を地面あるいは機械式ストッパまで降ろして油圧の圧力を開放し、油圧コントロールレバーを動かしてください。
- 整備作業で持ち上げる必要のある作業機またはアタッチメントのエレメントをしっかりと固定してください。必要に応じて、ジャッキスタンドを使用するか、整備用ラッチをロックして部品を支持してください。
- パーキングブレーキをかけていない場合は絶対にエンジンを作動させないでください。
- すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗または破損している部品は交換してください。磨耗、または破損している安全指示ステッカーはすべて交換してください。
- すべての金具を定期的に点検し、装置が安全な動作状態であることを確認してください。
- 機械や安全装置を改造しないでください。機械やアタッチメントに対して認可されていない改造を行うと、機能や安全性を損なうおそれがあります。

TH84124,000013A-40-22MAY13

可動部品によるけがの防止

清掃、修理、点検の前に、すべての可動部品が停止していることを確認してください。トラクターのスパークプラグワイヤまたはバッテリーの接続を外して、予期しない始動を防止してください。

回転している部品の近くまたは下に手足を入れないでください。排出区域には常に近づかないでください。

アタッチメントの点検または取り外し時は、手を保護してください。手袋を着用し、適切な工具を使用してください。

分解してアタッチメントの取り外しまたは調整を行う前に、以下の手順を実行してください :

- PTO を解除します。
- エンジンを停止します。
- 駐車ブレーキをロックします。
- キーを抜きます。
- すべての可動部品が停止するのを待ちます。
- エンジン運転中は、アタッチメントに手、脚、服を近づけないでください。

TH84124,000013B-40-22MAY13

障害物との衝突によるけがの防止

- 作業と作業の間に運転するときは、アタッチメントを上昇させてください。
- アタッチメントを使用するときは低速で運転してください。隠れた障害物に注意してください。

TH84124,000013C-40-22MAY13

回転している駆動系の回避

TS1644—UN—22AUG95

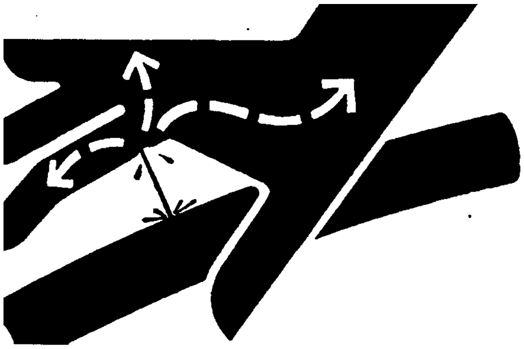
回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

すべてのシールドは常時所定の位置に取り付けてください。 回転するシールドが自由に動くようにしてください。

ぴったりした衣類を着用してください。 エンジンや機械駆動装置の調整、接続、その他あらゆる種類の整備は、エンジンを停止し、回転部と駆動系がすべて停止したことを確認してから行ってください。

DX,ROTATING-40-27NOV12

高圧流体の回避



X9811—UN—23AUG88

油圧ホースは、1 年に 1 回以上、漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、膨れ、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか定期的に点検してください。

摩耗または損傷しているホースアセンブリは John Deere 認定交換部品とただちに交換してください。

圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。

油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。圧力をかける前に、すべての接続部をしっかり締めてください。

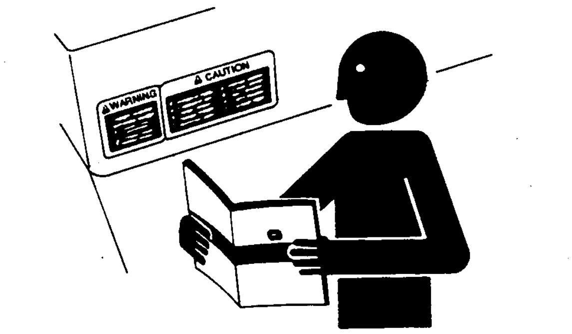
ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

誤って皮膚を噴射した場合は、すぐに手術を受けてください。

DX,FLUID-40-05NOV25

安全ラベル

安全標示ラベルの交換



TS201—UN—15APR13

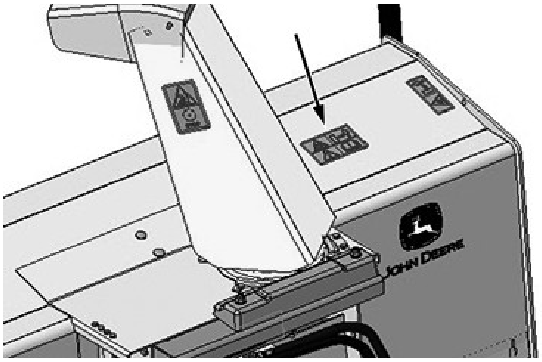
安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。 適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを参照してください。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

DX,SIGNS-40-27NOV12

飛散物によるけがの防止

LV29996—UN—22MAR18



LV30004—UN—17APR18

スノーブロワ

警告

- 取扱説明書をお読みください。
- すべてのシールドを所定の位置に取り付けてください。
- 人との安全な距離を保ってください。

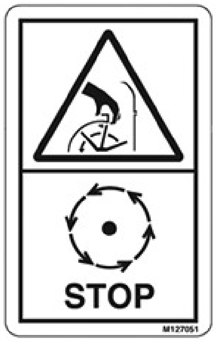
注意

ブレーキやステアリングの制御不能によるけがを防止するために以下に注意してください

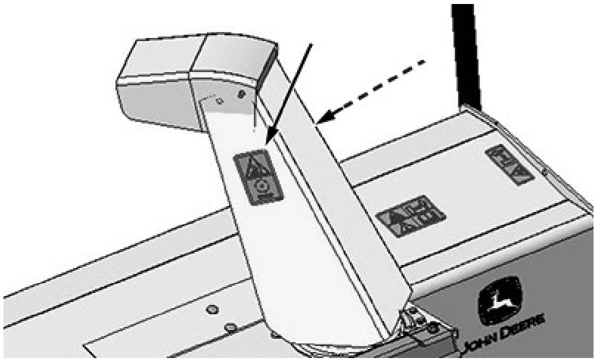
- 取扱説明書に従ってバラストを取り付けてください。

PR59899,00005AB-40-24DEC20

回転オーガによるけがの防止

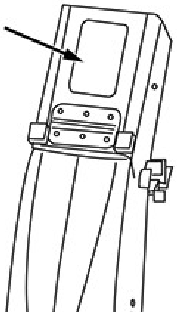


LV29995—UN—22MAR18



LV30003—UN—18APR18

59 スノーブロワ



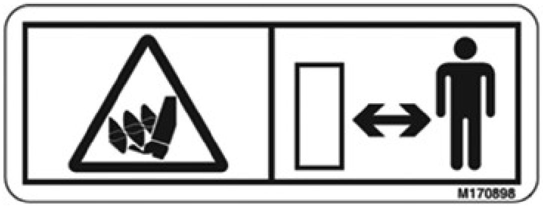
LV30015—UN—28MAR18

47、*54* スノーブロワ

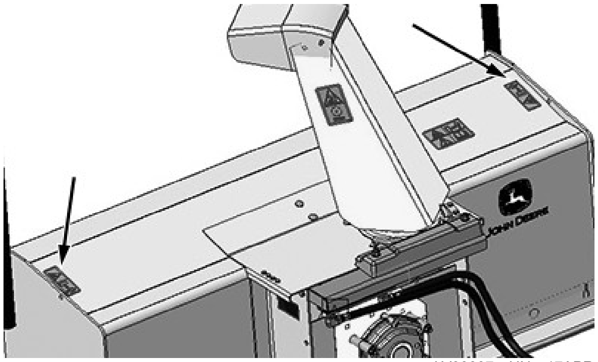
回転しているオーガによるけがを防止するため、手、足、衣服を近づけないでください。

AL61114,000070B-40-07APR21

回転ブレードによるけがの防止



LV29994—UN—22MAR18



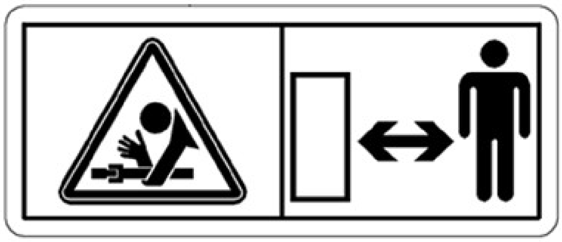
LV30007—UN—17APR18

スノーブロワシュート

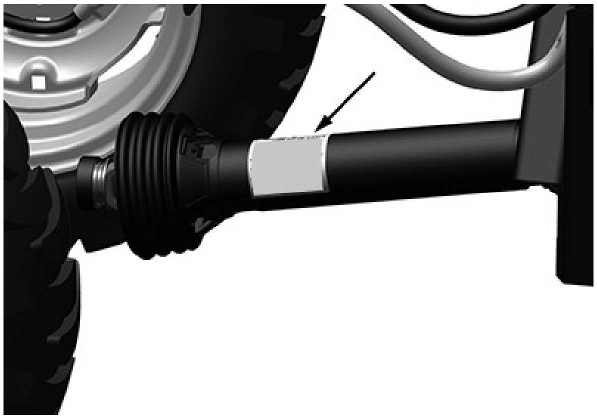
- 排出シュートの詰まりを取り除く前にエンジンを停止してください。

PR59899,00005AD-40-24DEC20

回転しているドライブラインに近づかない



LV29997—UN—22MAR18



LV30040—UN—17APR18

駆動軸

回転駆動軸

接触すると死に至ることがあります。

近づかないでください！

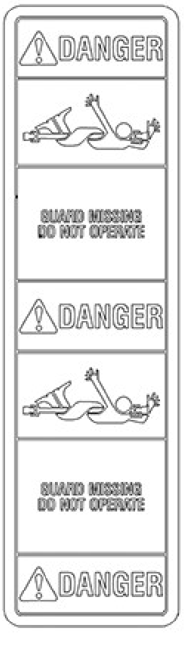
以下の状態ではない場合は操作しないでください:

- 所定位置に取り付けられたすべての駆動軸ガード、トラクターおよび装置シールド
- 両端にしっかり取り付けられた駆動軸
- 駆動軸上で自由に回転する駆動軸ガード
- 取扱説明書を熟読している

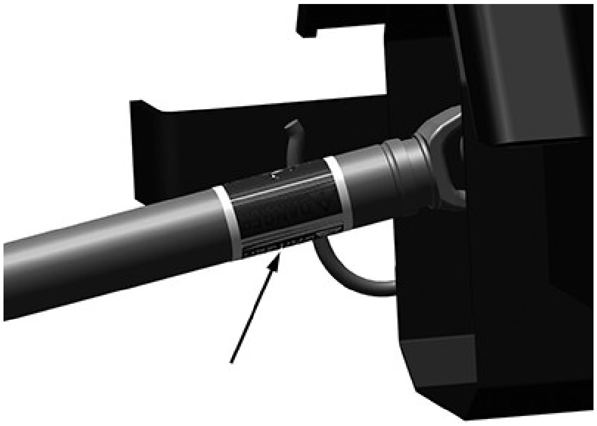
PTO アダプターを使用しないでください

PR59899,00005AE-40-13JAN21

操作不能 - ガードがありません



LV24963—UN—12APR16



LV24150—UN—09OCT15

ドライブライン

危険

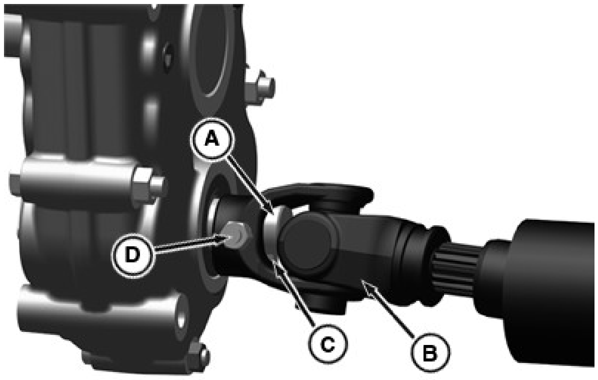
ガードがありません

操作しないでください

PR59899,00005AF-40-06JAN21

スノーブロアの組み立て

スノーブロワへの駆動軸の取り付け



LVP11494—UN—08JAN21

A：**駆動軸カプラー**
B：**ギヤケースシャフト**
C：**シャフトキー (5/16 x 2 in)**
D：**キャップスクリューとロックナット**

1. シャフトキー (C) を取り付け、駆動軸カプラー (A) の穴とキースロットをギヤケースシャフト (B) に合わせ、駆動軸をスライドさせます。

2. 駆動軸がギアケースシャフトにはまった状態でボルト穴を揃え、キャップスクリューとロックナット (D) を使用して固定します。

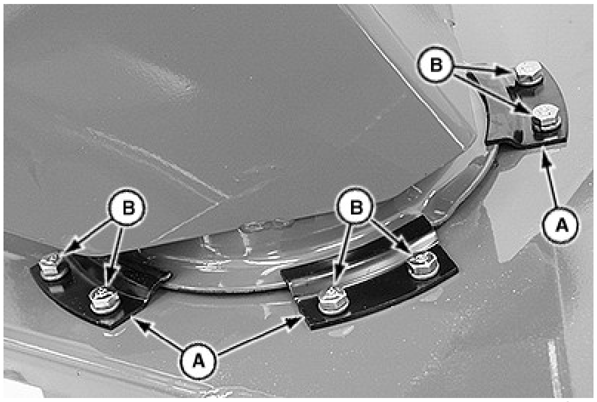
AL61114,000070D-40-09APR21

シュートの取り付け

LVP11369—UN—26MAR21

1. 排出シュートの底部と内側フランジにグリースを塗布します。

2. 排出シュートをオーガハウジングのオーガ開口部に配置します。

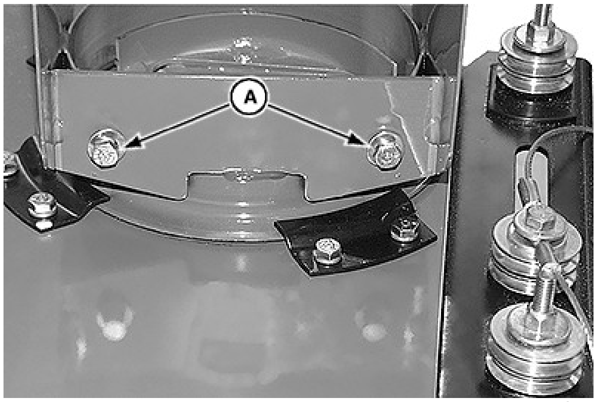


LV23148—UN—23SEP14

A：**クリップ (4 個使用)**
B：**キャップスクリュー (5/16 x 3/4 in) 止め座金、ナット (8 セット使用)**

3. キャップスクリュー、止め座金、ナット (B) でクリップ (A) を取り付けます。

4. シュートを回転させてスパウトを左に向けます。



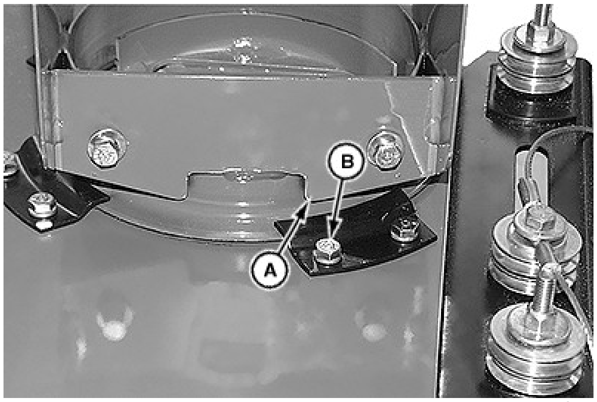
LV23149—UN—23SEP14

A：**キャップスクリュー (5/16 x 3/4 in) と座金 (M9 x 28 mm) (2 セット使用)**

5. キャップスクリューと座金 (A) をシュートのねじ穴に取り付け、2、3 回まわして締め付けます。

AL61114,000070E-40-09APR21

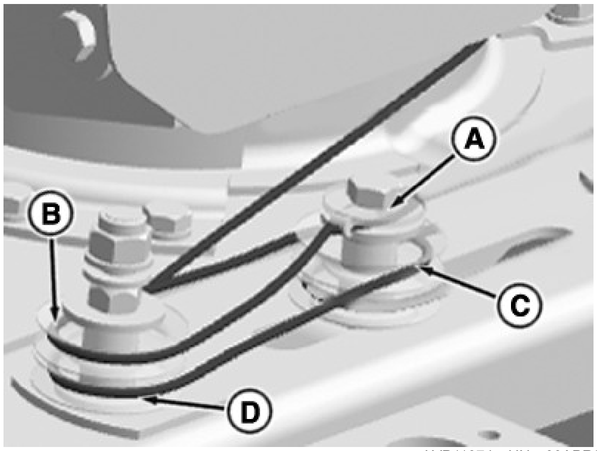
シュートのケーブル取り回し



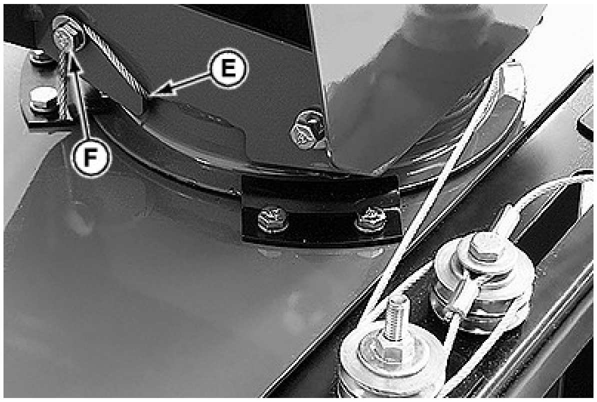
LV23150—UN—23SEP14

A：**タブ**
B：**ねじ**

1. シュートを動かして、シュートのタブ (A) をねじ (B) の縁と一致させます。シュートの開口部は左側に面しています。



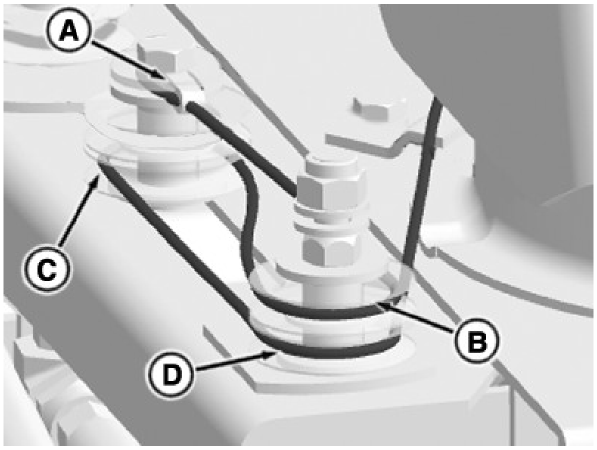
LVP11374—UN—09APR21
説明をわかりやすくするため、右ケーブルは非表示となっています



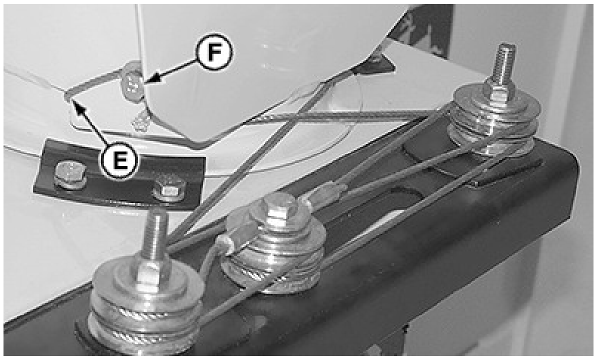
LVP11376—UN—09APR21

A：**座金**
B：**左上のプーリー**
C：**上部中央のプーリー**
D：**左下のプーリー**
E：**タブ**
F：**キャップスクリュー**

2. 左 (長い) ケーブルの取り回し：
   a. 座金 (A) の後ろ。
   b. 左上プーリー (B) の周り。
   c. 上部中央プーリー (C) の周り。
   d. 左下プーリー (D) の周り。
   e. シュート周辺。
   f. タブ (E) の下側。
3. ロッキングプライヤを使用して、ケーブルをしっかりと引っ張ります。
4. キャップスクリュー (F) を締め付けます。



LVP11375—UN—09APR21
説明をわかりやすくするため、左ケーブルは非表示となっています



LVP11377—UN—09APR21

A：**座金**
B：**右上のプーリー**
C：**下部中央のプーリー**
D：**右下のプーリー**
E：**タブ**
F：**キャップスクリュー**

5. 右 (短い) ケーブルの取り回し：
   a. 座金 (A) の後ろ。
   b. 右上プーリー (B) の周り。
   c. 下部中央プーリー (C) の周り。

d. 右下プーリー (D) の周り。

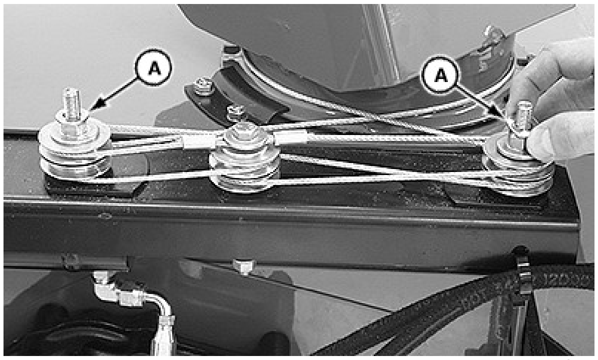
e. シュートの前。

f. タブ (E) の下側。

6. ロッキングプライヤを使用して、ケーブルをしっかりと引っ張ります。
7. キャップスクリュー (F) を締め付けます。
8. シュートを元の位置に戻します。

AL61114,000070F-40-12APR21

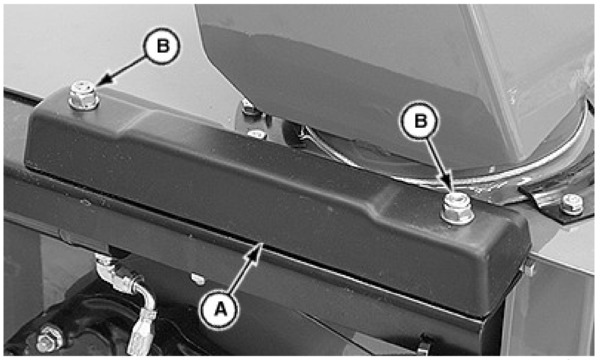
ケーブルシールドの取り付け



LV23153—UN—23SEP14

A : **座金 (M10.5 x 20 mm)**

1. 座金 (A) を各ケーブルシールドのボルトに取り付けます。



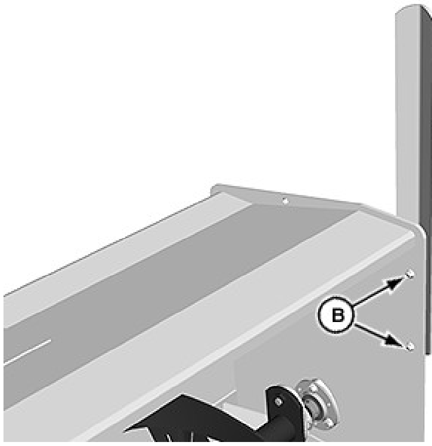
LV23154—UN—23SEP14

A : **ケーブルシールド**
B : **座金 (M10.5 x 20 mm) とストップナット (3/8 in) (2 セット使用)**

2. ケーブルシールド (A) を取り付けます。
3. 座金とストップナット (B) を取り付けます。

AL61114,0000710-40-09APR21

ドリフトブレードの取り付け



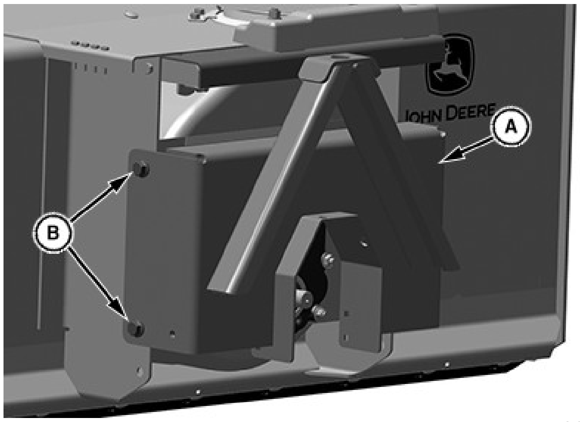
LV23155—UN—23SEP14

A : **ドリフトブレード**
B : **ボルト (M6 x 30 mm) とロックナット (M6) (4 セット使用)**

ボルトとロックナット (B) を使って、ドリフトブレードブレード(A) をオーガハウジングの両側に固定します。

AL61114,0000711-40-09APR21

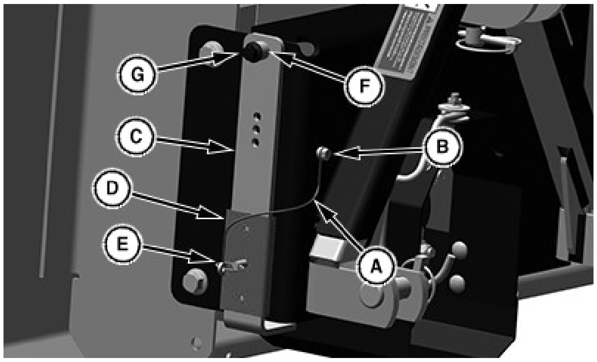
A フレームマウントの取り付け



LV24141—UN—07OCT15

A : **アダプタ**
B : **キャップスクリュー (M12 x 50 mm)、座金 (M13 x 37 mm)、ロックナット (M12) (4 セット使用)**

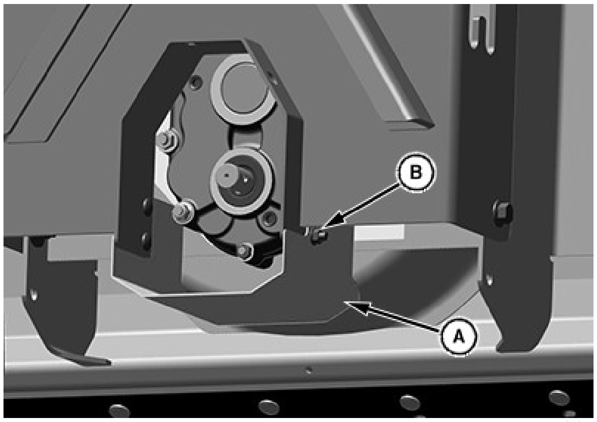
1. キャップスクリュー、座金、および ロックナット (B) で A フレームレシーバーアダプタ (A) をオーガハウジングに取り付けます。



LV24983—UN—13APR16

A：**ピンリテーナ**
B：**キャップスクリュー**
C：**パーキングスタンド**
D：**ブラケット**
E：**ロックピン**
F：**スペーサ**
G：**キャップスクリュー**

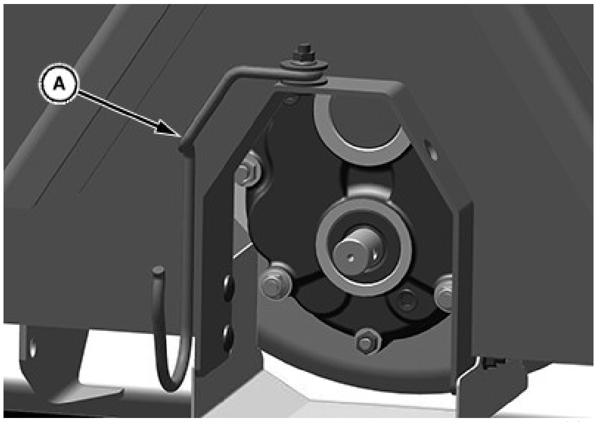
2. ロックピンリテーナ (A) をアダプタに取り付けて、キャップスクリュー (B) とナットで固定します。
3. パーキングスタンド (C) をブラケット (D) に通してスライドさせます。
4. ロックピン (E) を取り付けて上位置に固定します。
5. スペーサ (F) とキャップスクリュー (G) を取り付けます。



LV24143—UN—07OCT15

A：**シールド**
B：**ナット**

6. シールド (A) をアダプタに取り付けて、キャップスクリューとナット (B) で固定します。



LV24145—UN—07OCT15

A：**ワイヤーフォーム**

7. ワイヤフォーム (A) と座金 2 枚をアダプタに取り付けます。キャップスクリューとナットで固定します。

AL61114,00006FA-40-12APR21

トラクターへのスノーブロワの装着

トラクターの準備

必要な装置

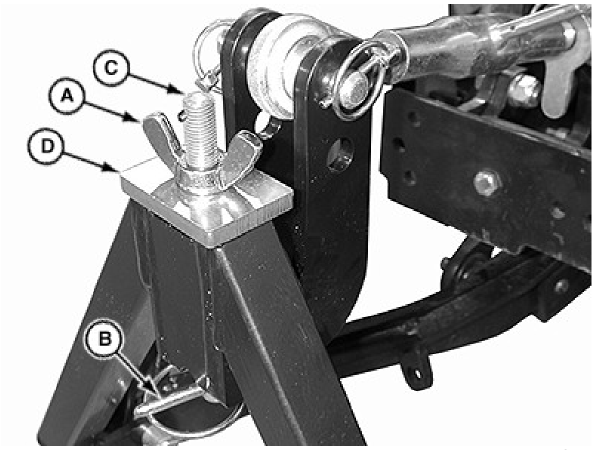
- フロント PTO
- 前部ヒッチ

バラストの取り付け

スノーブロワを使用するときはバラストが必要です。お使いのトラクターの取扱説明書を参照するか、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

AL61114,0000704-40-02APR21

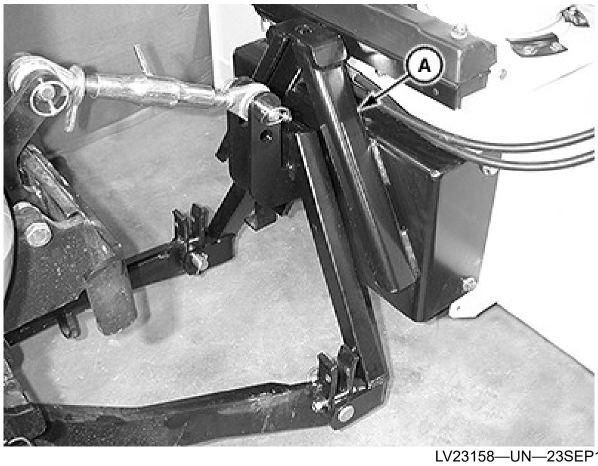
A フレームによる前部ヒッチへの作業機の取り付け



LV23157—UN—23SEP14

A：**蝶ナット**
B：**クイックロックピン**
C：**ロッド**
D：**プレート**

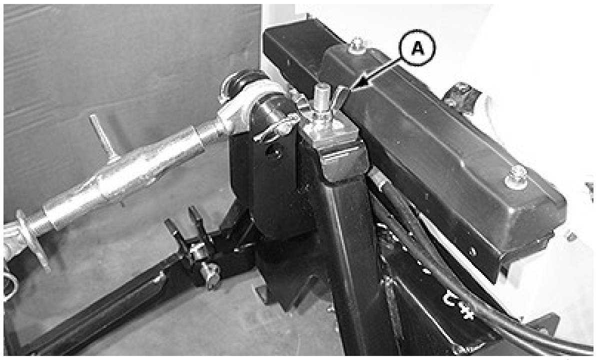
1. 蝶ナット (A) を緩めて、クイックロックピン (B) を取り外します。
2. A フレームから蝶ナットおよびリテーナプレート (D) 付きのリテーナロッド (C) を取り外します。



LV23158—UN—23SEP14

A：**マウント**

3. トラクターを前方へゆっくりと運転して、A フレームを作業機のマウント (A) に合わせます。
4. ヒッチを上げて、A フレームをマウントに取り付けます。



LV23159—UN—23SEP14

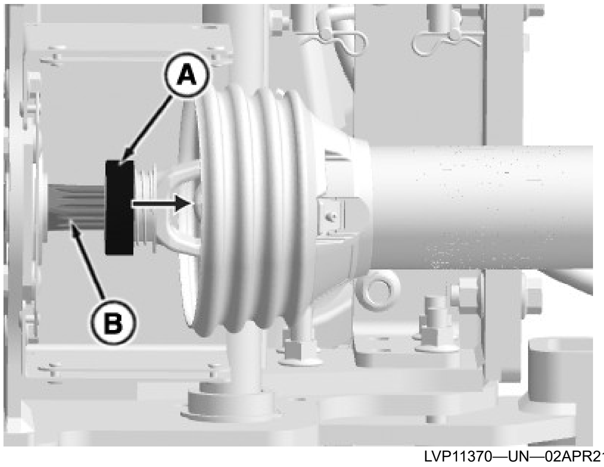
A：**蝶ナット**

5. 蝶ナットとリテーナプレートを使用して、リテーナロッドをマウントと A フレームに通して取り付けます。必要に応じて蝶ナット (A) を位置決めし、クイックロックピンをリテーナロッドに取り付けます。
6. 蝶ナットを締め付けて作業機を A フレームに固定します。
7. コッタピンをリテーナロッドの端部の小穴に取り付けます。

AL61114,0000706-40-02APR21

トラクターへの駆動軸の連結

1. トラクターを安全に駐車します。



LVP11370—UN—02APR21

A：**カプラー**
B：**PTO シャフト**

2. 駆動軸のカプラー (A) を引いて、カラーロックを開きます。

3. カプラーがロックされるまで駆動軸をトラクターの PTO シャフト (B) に押し込みます。

AL61114,0000707-40-02APR21

油圧ホースの接続

1. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

X9811—UN—23AUG88

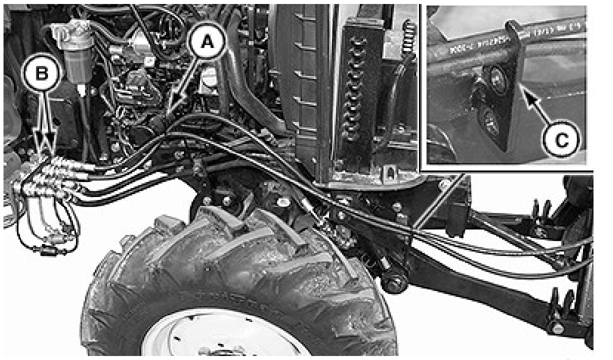
注意： 圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。圧力をかける前に、すべての接続部をしっかり締めてください。ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手可能です。

2. 油圧式選択制御弁 (SCV) の使用については、トラクターの取扱説明書の情報を参照してください。

3. トラクターのデュアル SCV レバーを前後および左右に数回を動かして油圧を逃がします。

4.



LV23160—UN—23SEP14
ミッドマウントカプラー装備のトラクター

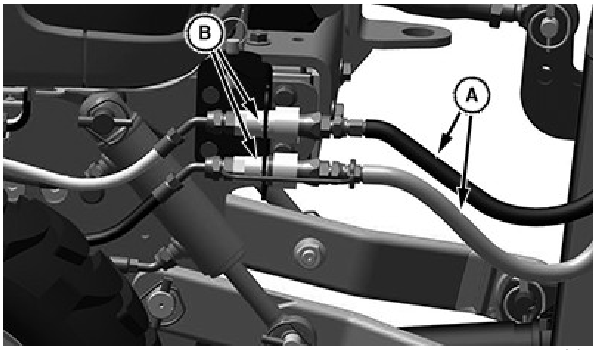
A：**ホースサポート**
B：**カプラー**
C：**ブラケット**

ミッドマウントカプラー装備のトラクターの油圧ホースの取り回し：

a. スノーブロワ油圧ホースをフロントヒッチホースサポート (A) に通して取り回し、ホースを黄色と赤のカプラーダストプラグに合わせて SCV カプラー (B) に取り付けます。

b. カプラーダストプラグをホースダストカバーに取り付けて保管します。

5.



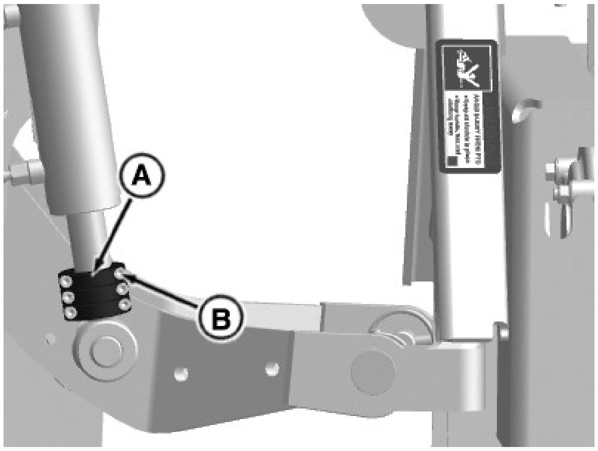
LV24144—UN—12OCT15
フロントマウントカプラー装備のトラクター

A：**油圧ホース**
B：**フロントカプラー**

フロントマウントカプラー装備のトラクターの油圧ホースの取り回し：

a. フロントホースのエクステンションをスノーブロワから取り外します。

b. カプラーを短い油圧ホース (A) に取り付けてフロントカプラー (B) に接続します。



LVP11373—UN—09APR21

A：**スペーサ（3 個使用）**
B：**スペーサスクリュー (6 個使用)**

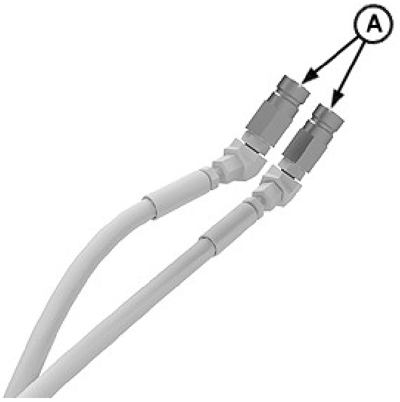
2025R のみ

1. スペーサキットをヒッチ油圧シリンダに取り付けます。スペーサ (A) をシリンダピストンロッドの底部で互いに重ね合わせます。

重要： 損傷を防止するために、スペーサはピストンロッドの底部に取り付ける必要があります。

2. スペーサスクリュー (B) を締め付け、ヒッチ操作中にスペーサがロッド上をスライドしないようにします。

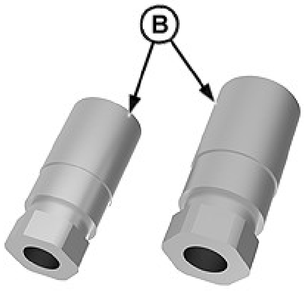
単点油圧接続を装備しているモデルの場合



LVP18204—UN—19JUN23

A：**油圧クイックカプラープラグ**

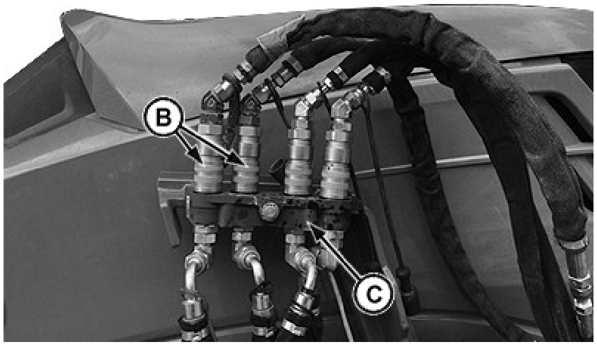
1. 油圧クイックカプラープラグ (A) をスノーブロワキットから取り外します。



LVP18205—UN—19JUN23

B：**油圧クイックコネクトカプラー (キット BXX11234 パーツリストの品目)**

2. 油圧クイックコネクトカプラー (B) をスノーブロワキットに取り付けます。



LVP18206—UN—19JUN23

C：**単点油圧接続 (SPHC)**

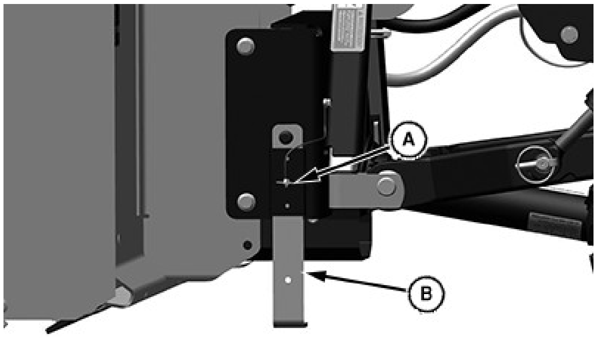
3. 油圧クイックコネクトカプラー (B) を単点油圧接続部 (C) に取り付けます。
4. エンジンを始動し、漏れがないか確認します。見つかった漏洩箇所の修理を行います。
5. 作動油レベルを点検します。必要に応じて、オイルを追加します。

AL61114,0000708-40-19FEB26

トラクターからのスノーブロアの取り外し

パーキングスタンドの設置

1. トラクターを安全に駐車します。



LV24977—UN—13APR16

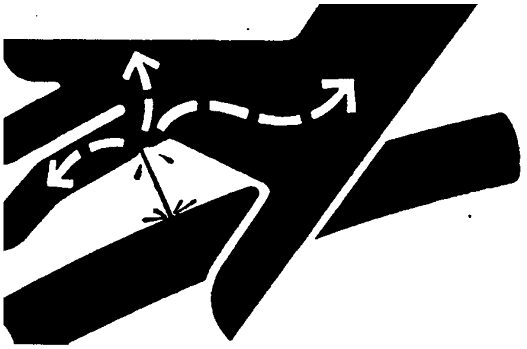
A : **ロックピン**
B : **パーキングスタンド**

2. スノーブロワを取り外す前にパーキングスタンド (B) を下の位置に動かします。
   a. ロックピン (A) をパーキングスタンド (B) から取り外します。
   b. パーキングスタンド (B) を下にスライドさせます。
   c. ロックピン (A) を取り付けて、パーキングスタンド (B) を所定の位置にロックします。

DN39857,000036B-40-07APR21

油圧ホースの取り外し

1. トラクターを安全に駐車します。

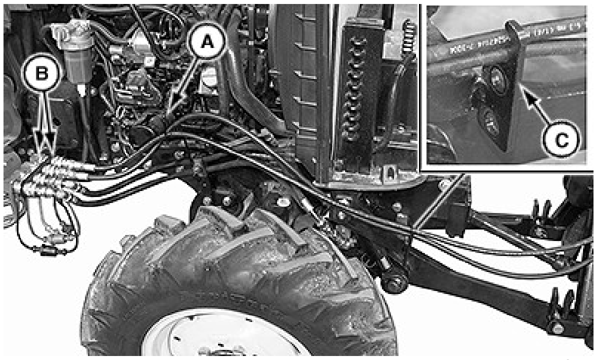


X9811—UN—23AUG88

注意： 圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A.) から入手可能です。

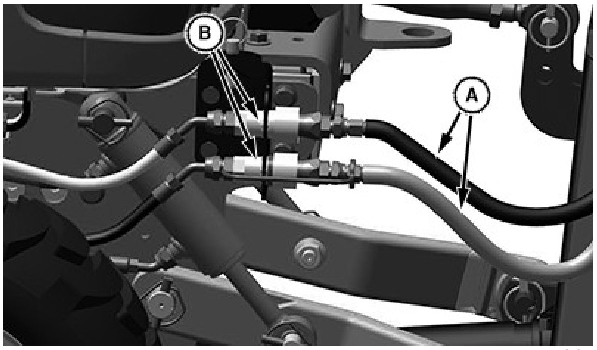
2. トラクターのデュアル SCV レバーを前後および左右に数回を動かして油圧を逃がします。
3. 油圧ホースの取り外し：



LV23160—UN—23SEP14
ミッドマウントカプラー装備のトラクター

A : **ホースサポート**
B : **カプラー**
C : **ブラケット**

   a. **ミッドマウントカプラー装備のトラクターの場合**：油圧ホースを SCV カプラー (B) から外して、ホースを前部ヒッチホースサポート (A) と前部ヒッチサポートブラケット (C) から取り外します。



LV24144—UN—12OCT15
フロントマウントカプラー装備のトラクター

A : **油圧ホース**
B : **フロントカプラー**

   b. **フロントマウントカプラー装備のトラクターの場合**：油圧ホース (A) をフロント SCV カプラー (B) から外します。

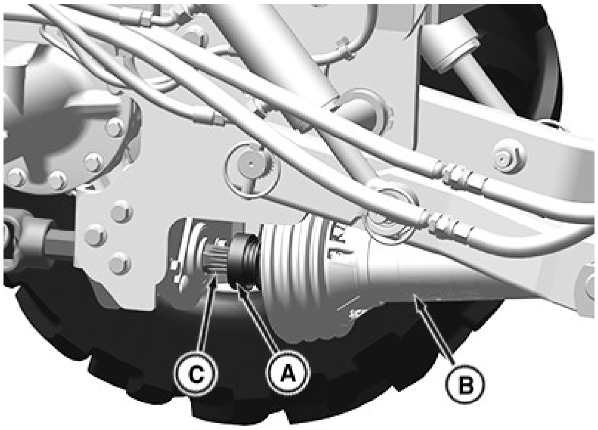
4. ダストカバーをホースの端部に取り付けて、ホースをスノーブロワに取り付けます。

5. SCV カプラーのダストプラグをカプラーに取り付けます。

DN39857,000036C-40-07APR21

トラクターからの駆動軸の取り外し

1. トラクターを安全に駐車します。



LVP11629—UN—06APR21

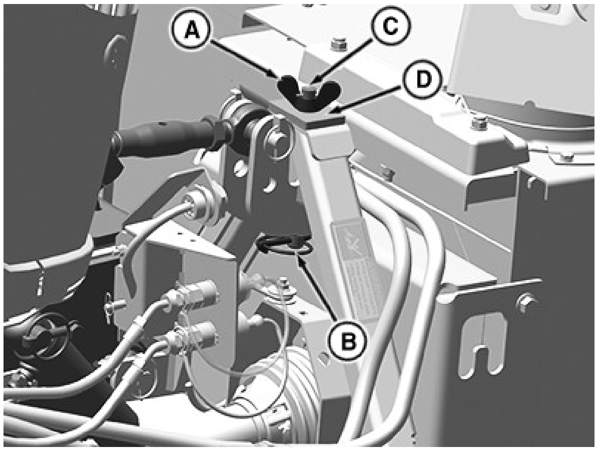
A：**カプラー**
B：**駆動軸**
C：**PTO シャフト**

2. 駆動軸 (B) のカプラー (A) を引き、カラーを切り離します。
3. 駆動軸 (B) をトラクターの PTO シャフト (C) から取り外します。

DN39857,000036D-40-07APR21

A フレーム付きフロントヒッチからの作業機の取り外し

1. トラクターを安全に駐車します。
2. スノーブロワを水平面まで降ろし、パーキングスタンドをセットします。



LVP11628—UN—06APR21

A：**蝶ナット**
B：**クイックロックピン**
C：**ロッド**
D：**プレート**

3. 蝶ナット (A) を緩めて、クイックロックピン (B) を取り外します。
4. 蝶ナットとリテーナプレート (D) 付きリテーナロッド(C) を取り外します。
5. ヒッチを下げて A フレームを作業機マウントから取り外し、トラクターをゆっくりと後退させて作業機から離します。
6. 蝶ナットとリテーナプレートでリテーナロッドをクイックロックピン付きの A フレームの上に取り付けます。

DN39857,000036E-40-06APR21

保管

アタッチメントの保管

注記： 必ずしもすべての手順がアタッチメントに適用できるとは限りません。お使いの製品で手順を確認してください。

1. アタッチメントを本機から取り外します。
2. アタッチメントとドライブトレインが装備されている場合は、きれいに清浄します。
3. シールドをすべて取り外し、ゴミをきれいに取り除きます。
4. 摩耗、曲がり、損傷がある部品は修理または交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
5. 錆を防止するため、次のことを行ってください:
   a. 必要に応じて、塗装面に塗料を塗布します。
   b. ブレードにグリースを薄く塗ります。
   c. ピボットポイントをエンジンオイルで潤滑します。
   d. グリースポイントに注油します。

重要： 損傷を防止してください。装置を粗い面に置くと損傷するおそれがあります。装置は平滑な面か木のブロックの上で保管してください。

6. アタッチメントを屋外で保管する場合は、可能であればアタッチメントをブロックに乗せて防水カバーで覆います。

DN39857,000036A-40-25MAR21

スノーブロワの上昇 / 下降

重要： 損傷を防止してください。スノーブロワをヒッチの高さまで上げる前に PTO を OFF にします。

1. 選択制御弁 (SCV) の使用に関する情報については、トラクターの取扱説明書を参照してください。
2. スノーブロワを下げるには、デュアル SCV レバーを前方に押します。
3. スノーブロワを上げるには、デュアル SCV レバーを後方に引きます。

DN39857,000036F-40-07APR21

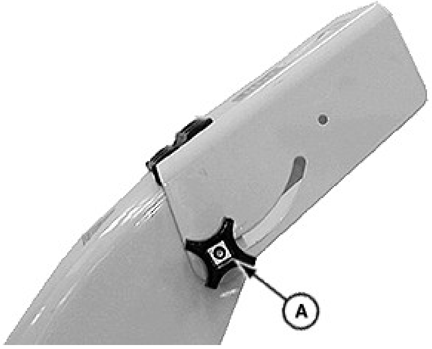
排出シュートの操作

1. 選択制御弁 (SCV) の使用に関する情報については、トラクターの取扱説明書を参照してください。
2. シュートを右に回転させるには、デュアル SCV レバーを右に動かします。
3. シュートを左に回転させるには、デュアル SCV レバーを左に動かします。

DN39857,0000370-40-07APR21

スパウト調整 - 手動

1. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



LV23163—UN—23SEP14

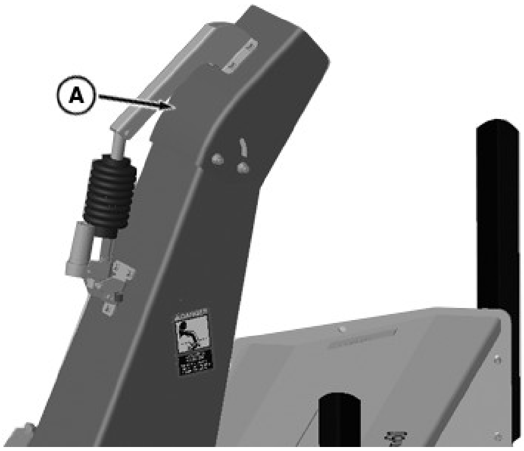
A：**ノブ**

2. ノブ (A) を緩めます。
3. 適切な角度にスパウトを傾けます。
4. ノブを締め付けます。

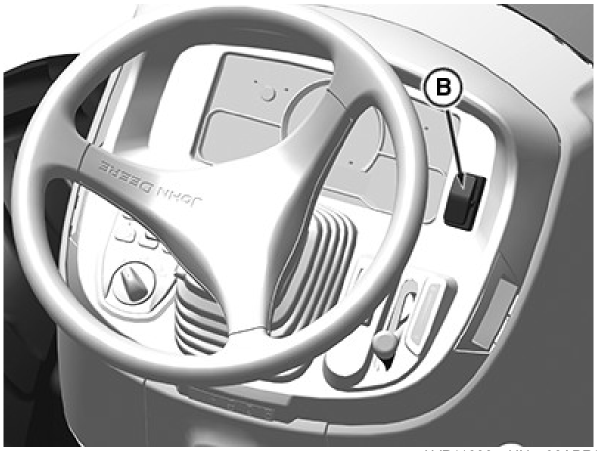
PR59899,00005A5-40-07APR21

スパウトの調整 - 電動

注記： スパウトの角度は、スノーブロワ作動中にいつでも変更できます。



LVP11492—UN—08JAN21



LVP11630—UN—06APR21

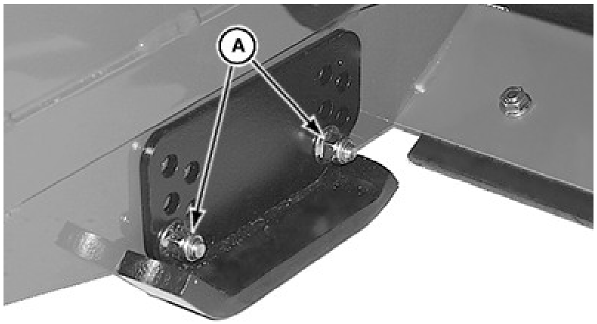
A：**スパウト**
B：**ロッカースイッチ**

1. ロッカースイッチ (B) を操作して、スパウト (A) の角度を変更します。
2. スパウトは、ロッカースイッチ (B) の上部を押して上げ、下部を押して下げます。

DN39857,0000371-40-06APR21

スキッドシューの調整

1. スノーブロワを上げます。
2. スノーブロワの両側のスクレーパーブレードの下にブロックを置きます。
3. 駐車ブレーキをロックします。
4. エンジンを停止し、キーを抜きます。
5. スノーブロワをブロックまで下げます。



LV23179—UN—23SEP14

A：**ナット**

6. ナット (A) とボルトを各スキッドシューから取り外します。

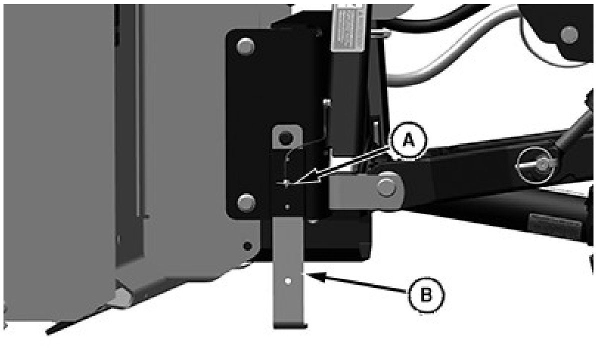
注記： 両方のスキッドシューを同じ位置に取り付ける必要があります。

7. ボルトとナットを穴に取り付けて、スクレーパーブレードを上げ下げします。各穴でブレードの高さが 13 mm (1/2 in) ずつ変わります。
8. 必要に応じて、古いスキッドシューを新しいスキッドシューに交換します。

DN39857,0000373-40-06APR21

パーキングスタンドの使用

1. トラクターを安全に駐車します。
2. スノーブロワを操作する前に、パーキングスタンドを上位置に動かします。

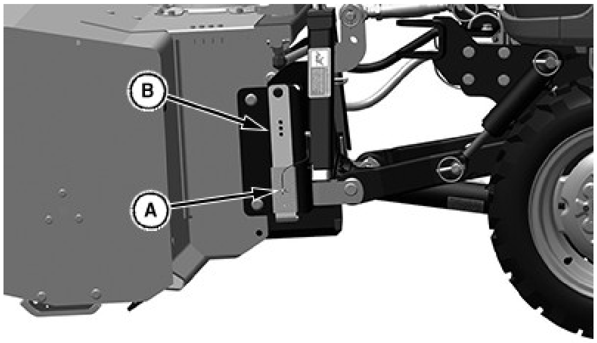


LV24977—UN—13APR16

A：**ロックピン**
B：**パーキングスタンド**

a. ロックピン (A) をパーキングスタンド (B) から取り外します。
b. パーキングスタンド (B) を上にスライドさせます。
c. ロックピン (A) を取り付けて、パーキングスタンド (B) を上位置にロックします。

3. スノーブロワを取り外す前に、パーキングスタンドを下位置に動かします。



LV24980—UN—13APR16

A：**ロックピン**
B：**パーキングスタンド**

a. ロックピン (A) をパーキングスタンド (B) から取り外します。
b. パーキングスタンド (B) を下にスライドさせます。
c. ロックピン (A) を取り付けて、パーキングスタンド (B) を下位置にロックします。

DN39857,0000372-40-07APR21

スノーブロワの操作

選択制御弁 (SCV) と PTO の使用に関する詳細については、トラクターの取扱説明書を参照してください。

注記： 完全に持ち上がった高さの状態、または輸送中のスノーブロワに PTO を接続したままにしないでください。

スノーブロワの起動

1. トラクターのエンジンを始動します。
2. デュアル SCV レバーを前方に押してスノーブロワを地面に下ろし、フロート位置にロックします。
3. エンジンのスロットル設定を 1500 rpm に調整します。
4. PTO を接続します。

注記： 最適な性能を得るには、スノーブロワをフルスロットル位置で操作してください。

5. エンジンのスロットルをフルスロットル位置に動かします。
6. トラクターの駐車ブレーキのロックを解除します。
7. ゆっくりと前進走行を開始します。

スノーブロワの停止

1. トラクターを停止します。

2. エンジンのスロットル設定を 1500 rpm に調整します。
3. PTO を解除します。
4. デュアル SCV レバーを前方に押してスノーブロワを地面に下ろします。

DN39857,0000375-40-07APR21

スノーブロワの輸送

⚠ **注意： けがを防止してください。機械をトレーラーやトラックに積み降ろしするときは、十分注意してください。**

燃料遮断弁を閉じます (機械に装備されている場合)。

重要： 損傷を防止してください。スノーブロア移送時は必ずアタッチメントをトレーラーデッキまで下げてください。

1. 法律で義務付けられているライトや標識を備えたヘビーデューティトレーラーに、本機とアタッチメントを運転して積載します。
2. アタッチメントをトレーラーデッキまで下げます。
3. エンジンを停止します。
4. 駐車ブレーキをロックします。
5. ストラップ、チェーン、またはケーブルで本機とアタッチメントをデッキに固定します。

DN39857,0000374-40-31MAR21

点検間隔

毎回使用前

- 排出シュートを潤滑します。

25 時間ごと

- オーガギヤケースの通気穴を点検して清掃します。
- オーガギヤケースのオイルレベルを点検します。
- スノーブロアギヤケースのオイルレベルを点検します。
- ギアケースシャフトに注油します。
- 駆動軸に注油します。
- オーガシャフトを潤滑します。

DN39857,0000383-40-12APR21

グリース

重要：損傷を防止してください。部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨の John Deere グリースをご使用ください。

推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29～135°C (-20～275°F) の範囲で有効です。

この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて、お近くの整備取扱店までお問い合わせください。

以下のグリースをお勧めします：

- John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease
- John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease

推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。

湿潤または高速条件では、特殊用途用のグリースを使用しなければならない場合があります。詳細については、お近くの整備取扱い店にお問い合わせください。

DN39857,0000384-40-12APR21

トランスミッションオイル

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に応じたオイル粘度を使用してください。

John Deere™ GL-5 Gear Lubricant を推奨します。

推奨 John Deere™ オイルを入手できない場合は、以下の仕様のいずれかを満たしていることを条件にその他のオイルを使用できます。

- API サービス分類 GL-5
- MIL規格MIL-L-2105D
- MIL規格MIL-L-2105C
- MIL 規格 MIL-L-2105B。

MIL 規格 MIL-L-10324A に適合するオイルは極寒地用オイルとして使用できます。

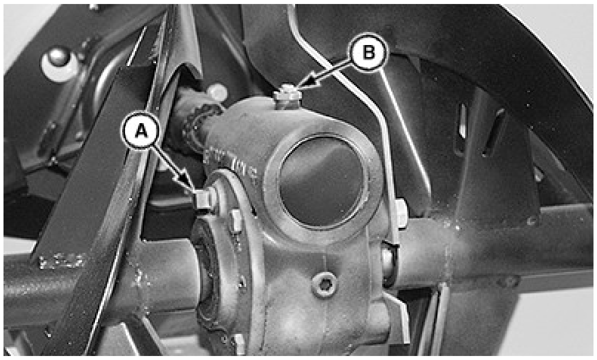
DN39857,0000385-40-12APR21

オーガギヤケースのオイルレベルの点検

注記：スノーブロワには、2 種類のオーガギヤケースがあります。一方には点検プラグオプションがあり、他方にはこのオプションはありません。お使いのスノーブロワの正しい手順を参照してください。

点検プラグ付きのスノーブロワ：

1. トラクターを安全に駐車します。



LV23165—UN—23SEP14

A：**点検プラグ**
B：**注入プラグ**

2. Remove the check plug (A).

重要：損傷を防止してください。オイルレベルを点検するときは、注入プラグの通気穴を確認してください。通気穴には障害物がないようにする必要があります。通気穴が塞がっていると、ギヤケースに圧力がかかり、ギヤケースから漏れが発生します。

3. オイルが点検プラグ穴と同じ高さであることを確認します。
4. 注入プラグ (B) を取り外します。
5. 必要に応じて、推奨トランスミッションオイルを追加します。
6. 注入プラグと点検プラグを取り付けて締め付けます。

点検プラグなしのスノーブロワ：

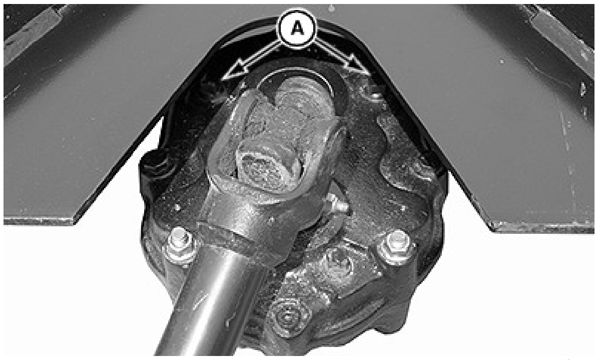
1. トラクターを安全に駐車します。
2. 注入プラグ (B) を取り外します。オイルレベルを注入穴の縁から 25.4 mm (2 in) に保ちます。

3. 必要に応じて、推奨トランスミッションオイルを追加します。
4. 注入プラグを取り付けて締め付けます。

DN39857,0000376-40-12APR21

スノーブロアギヤケースのオイルレベルの点検

1. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



LV23166—UN—23SEP14

A：**点検プラグ**

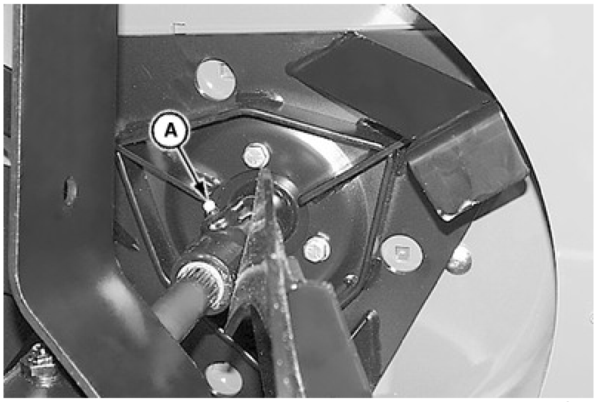
2. いずれかの点検プラグ (A) を取り外します。
3. オイルが点検プラグ穴と同じ高さであることを確認します。
4. 必要に応じて、推奨トランスミッションオイルを追加します。
5. プラグを取り付けて締め付けます。

DN39857,0000377-40-12APR21

ギアケース起動軸の潤滑

1. トラクターを安全に駐車します。

重要：シールの損傷を防ぐため、過度の注油はしないでください。



LV23167—UN—23SEP14

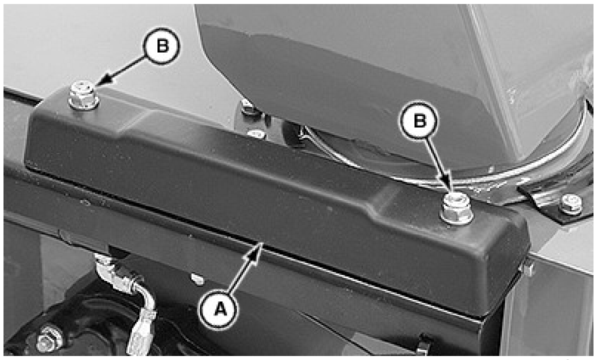
A：**グリースニップル**

2. グリースをグリースニップル (A) に 1 または 2 ショット注入します。

DN39857,0000378-40-12APR21

排出シュートとケーブルプーリーの潤滑

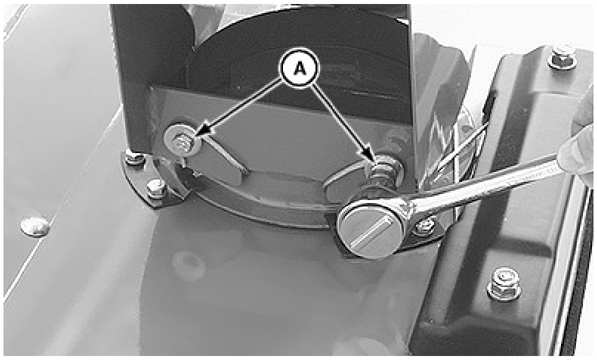
1. エンジンを始動します。
2. シュートを完全に左に回します。油圧シリンダは収縮している必要があります。
3. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



LV23154—UN—23SEP14

A：**ケーブルシールド**
B：**ストップナット**

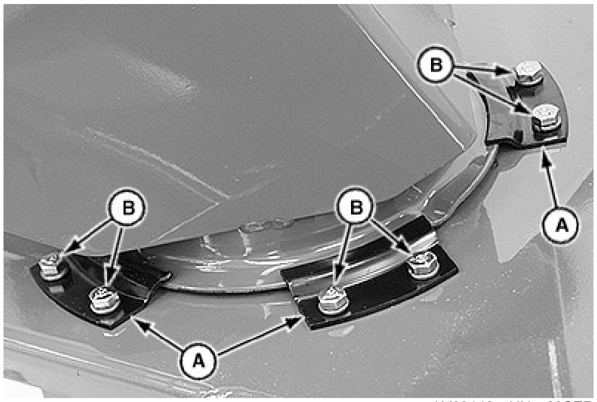
4. ストップナット (B)、ケーブルシールド (A) を取り外します。



LV23172—UN—23SEP14

A：**キャップスクリュー**

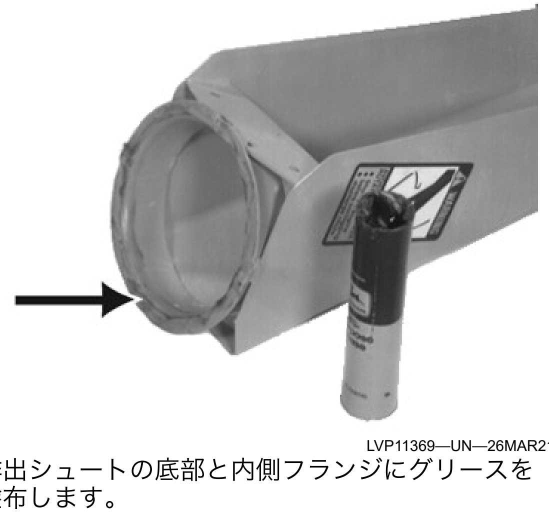
5. キャップスクリュー (A) を緩めます。
6. ケーブルの端部をシュートから外します。



LV23148—UN—23SEP14

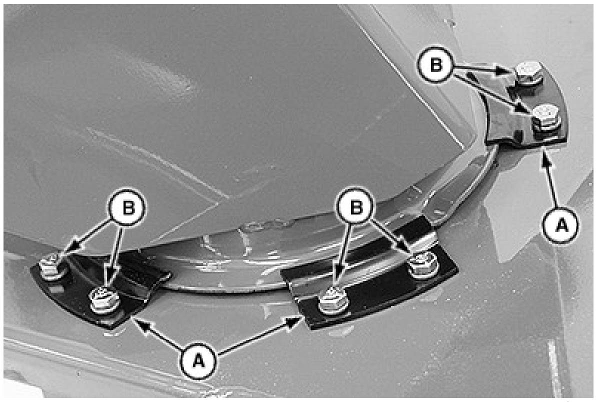
A：**クリップ (4 個使用)**
B：**キャップスクリューとナット (8 セット使用)**

7. キャップスクリューとナット (B) を取り外します。
8. クリップ (A) を外してから排出シュートを取り外します。



LVP11369—UN—26MAR21

9. 排出シュートの底部と内側フランジにグリースを塗布します。
10. 排出シュートをオーガハウジングのオーガ開口部に配置します。



LV23148—UN—23SEP14

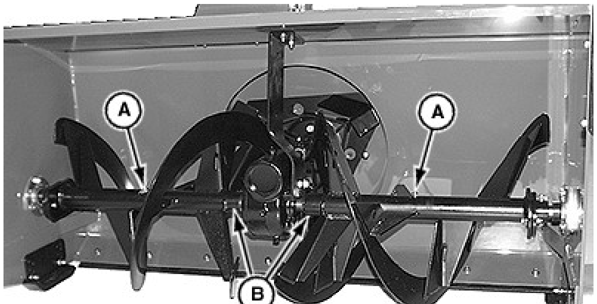
A：**クリップ (4 個使用)**
B：**キャップスクリュー (5/16 x 3/4 in) 止め座金、ナット (8 セット使用)**

11. キャップスクリュー、止め座金、ナット (B) でクリップ (A) を取り付けます。
12. シュートを回転させてスパウトを左に向けます。2 本のシュートケーブルを取り回します。(「アセンブリ」セクションの「シュートケーブルの取り回し」を参照してください。)
13. グリースをケーブルのプーリーに軽く塗布します。
14. ケーブルシールドを取り付けます。(「アセンブリ」セクションの「ケーブルシールドの取り付け」を参照してください。)

DN39857,0000379-40-12APR21

オーガシャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。



LV23168—UN—23SEP14

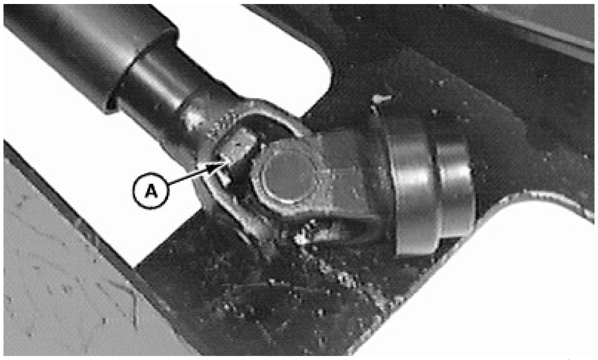
A：**グリースニップル**
B：**オーガシャフト**

2. グリースニップル (A) をオーガシャフト (B) から出てくるまでグリースで潤滑します。

DN39857,000037A-40-12APR21

駆動軸の潤滑

1. 機械を安全に駐車します。
2. グリースをすべての U ジョイントのグリースニップルに 1 または 2 ショット注入します。



LV23170—UN—23SEP14

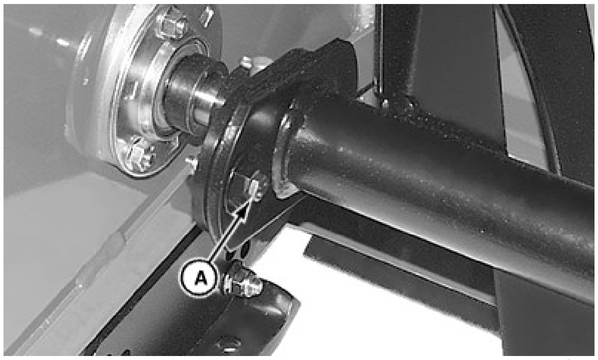
A：**内側シャフト**

3. 内側シャフト (A) をグリースで潤滑します。駆動軸を数回伸長 / 圧縮して、グリースを行き渡らせます。

DN39857,000037B-40-12APR21

せん断ボルトの交換

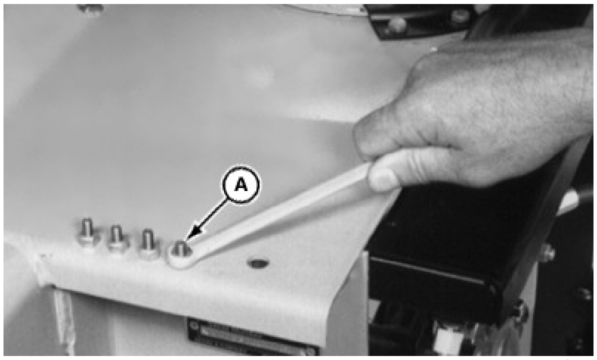
注記： せん断ボルト (A) がオーガシャフトの各端部に取り付けられています。アタッチメントが硬い物体に当たると、せん断ボルトが破断します。せん断ボルトは、オーガとアタッチメントを重大な損傷から保護します。



LV23169—UN—23SEP14

A：**せん断ボルト**

1. アタッチメントが固い物体に当たり、せん断ボルトが破損した場合は、すぐにアタッチメントを停止してください。
2. エンジンを停止します。駐車ブレーキをロックします。アタッチメントを下ろします。
3. せん断の原因を見つけて正します。



LV23171—UN—23SEP14

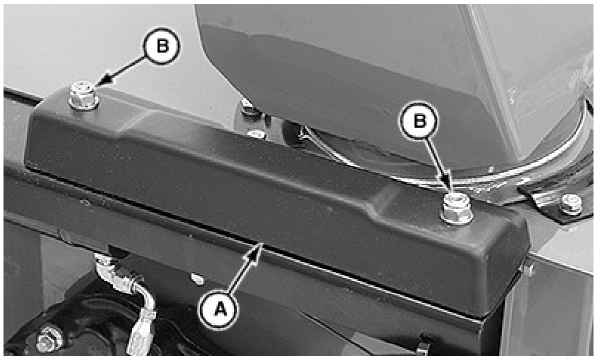
A：**せん断ボルト (0.25 x 1.375 in 等級 5)**

4. オーガハウジングに保管されているせん断ボルト (A) を取り外します。
5. 新しいせん断ボルトを取り付けます。

DN39857,000037C-40-12APR21

排出シュートのケーブルの交換

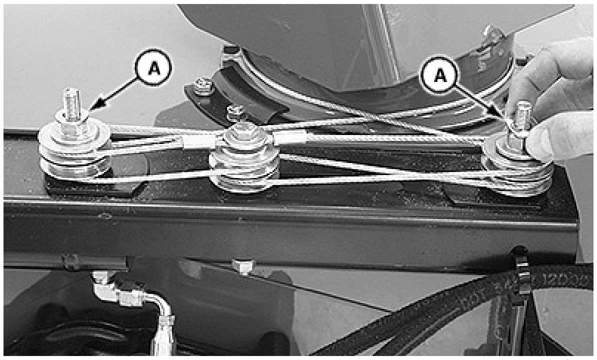
1. エンジンを始動します。
2. シュートを完全に左に回します。油圧シリンダは収縮している必要があります。
3. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



LV23154—UN—23SEP14

A：**ケーブルシールド**
B：**ストップナット**

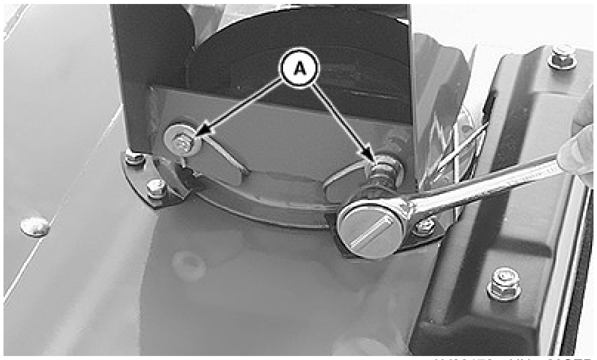
4. ストップナット (B)、ケーブルシールド (A) を取り外します。



LV23153—UN—23SEP14

A：**座金**

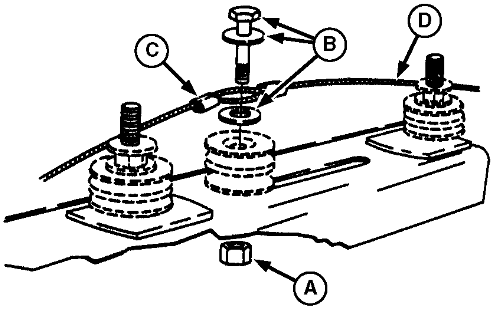
5. 各ケーブルシールドボルトの座金 (A) を取り外します。



LV23172—UN—23SEP14

A：**キャップスクリュー**

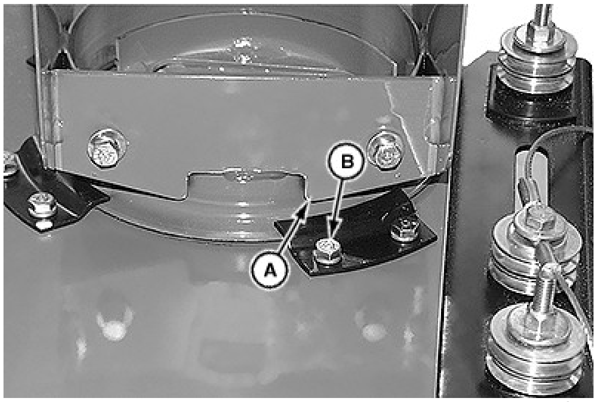
6. キャップスクリュー (A) を緩めます。
7. ケーブルの端部をシュートから外します。



LV23173—UN—23SEP14

A：**ナット**
B：**座金**
C：**長いケーブルの端部**
D：**短いケーブルの端部**

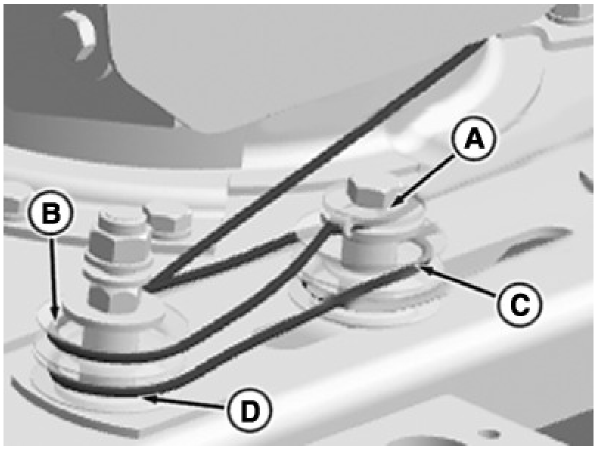
8. ナット (A)、ボルト、および座金 (B) を取り外します。
9. ケーブルの端部 (C)、(D) をプーリーから取り外します。ケーブルアセンブリを取り外します。
10. 長いケーブルの端部 (C) を左に、短いケーブルの端部 (D) を右にして、新しいケーブルを取り付けます。
11. ボルトと座金 (B) をケーブルアセンブリのアイレットに取り付けます。ナット (A) を取り付けます。



LV23150—UN—23SEP14

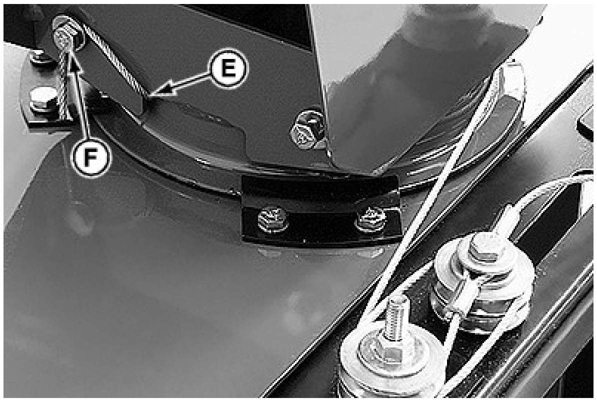
A：**タブ**
B：**ねじ**

12. シュートを動かして、シュートのタブ (A) をねじ (B) の縁と一致させます。シュートの開口部は左側に面しています。



LVP11374—UN—09APR21

説明をわかりやすくするため、右ケーブルは非表示となっています

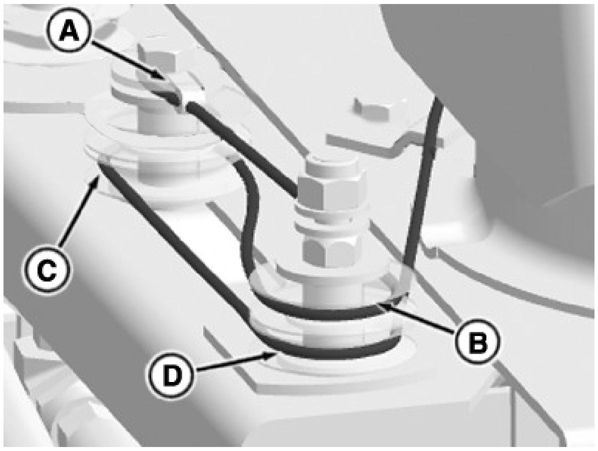


LVP11376—UN—09APR21

A：**座金**

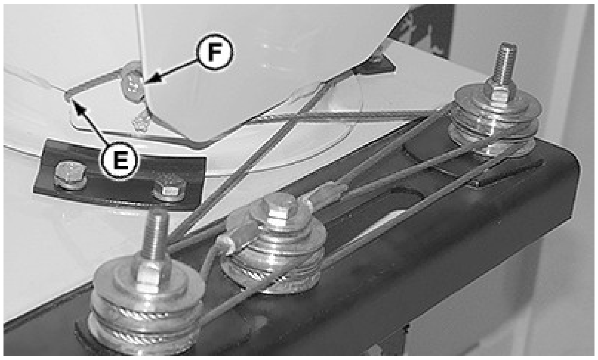
B：**左上のプーリー**
C：**上部中央のプーリー**
D：**左下のプーリー**
E：**タブ**
F：**キャップスクリュー**

13. 左 (長い) ケーブルの取り回し：
    a. 座金 (A) の後ろ。
    b. 左上プーリー (B) の周り。
    c. 上部中央プーリー (C) の周り。
    d. 左下プーリー (D) の周り。
    e. シュート周辺。
    f. タブ (E) の下側。
14. ロッキングプライヤを使用して、ケーブルをしっかりと引っ張ります。
15. キャップスクリュー (F) を締め付けます。



LVP11375—UN—09APR21

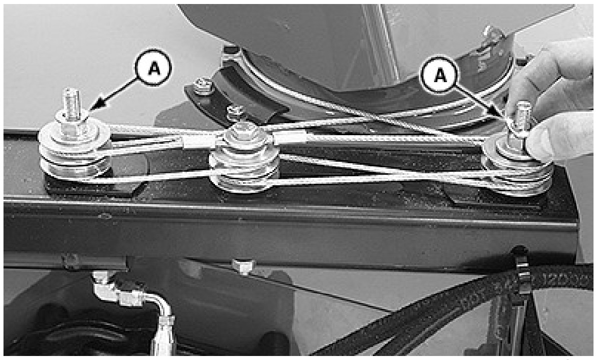
説明をわかりやすくするため、左ケーブルは非表示となっています



LVP11377—UN—09APR21

A：**座金**
B：**右上のプーリー**
C：**下部中央のプーリー**
D：**右下のプーリー**
E：**タブ**
F：**キャップスクリュー**

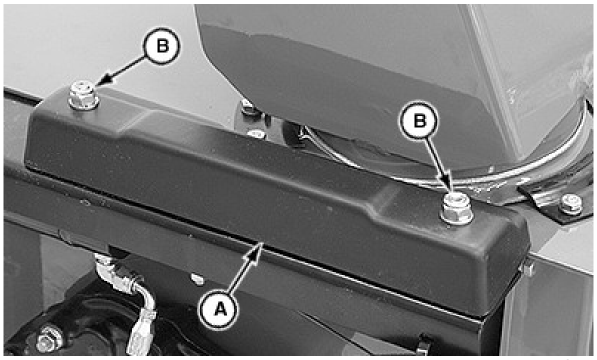
16. 右 (短い) ケーブルの取り回し：
    a. 座金 (A) の後ろ。
    b. 右上プーリー (B) の周り。
    c. 下部中央プーリー (C) の周り。
    d. 右下プーリー (D) の周り。
    e. シュートの前。
    f. タブ (E) の下側。
17. ロッキングプライヤを使用して、ケーブルをしっかりと引っ張ります。
18. キャップスクリュー (F) を締め付けます。
19. シュートを元の位置に戻します。



LV23153—UN—23SEP14

A：**座金 (M10.5 x 20 mm)**

20. 座金 (A) を各ケーブルシールドのボルトに取り付けます。



LV23154—UN—23SEP14

A：**ケーブルシールド**
B：**座金 (M10.5 x 20 mm) とストップナット (3/8 in) (2 セット使用)**

21. ケーブルシールド (A) を取り付けます。
22. 座金とストップナット (B) を取り付けます。

DN39857,000037D-40-12APR21

スキッドシューの交換

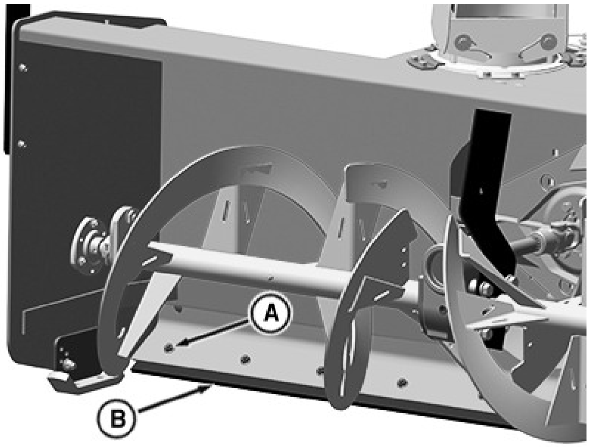
本取扱説明書「操作」セクションの「**スキッドシューの調整**」を参照してください。

DN39857,000037E-40-12APR21

スクレーパーブレードの交換と回転

注記： 片方の刃先が摩耗、粗くなったり、曲がったりした場合は、ブレードを 180 度回転させます。両方の刃先が摩耗、粗くなったり曲がっている場合は、ブレードを交換します。

1. スノーブロワを上げます。
2. スノーブロワの両側の下にブロックを置きます。
3. 駐車ブレーキをロックします。
4. エンジンを停止し、キーを抜きます。
5. スノーブロワをブロックまで下げます。



LVP11627—UN—06APR21

A：**ナット**
B：**ブレード**

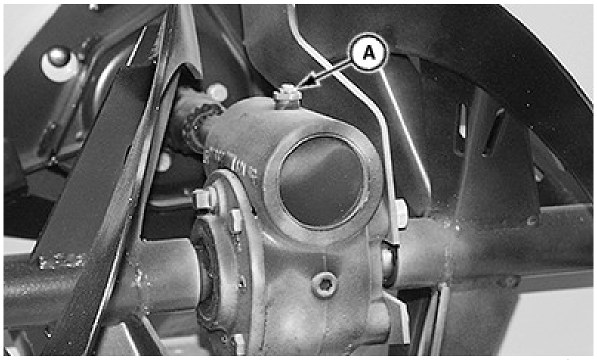
6. ナット (A) とボルト各 8 個を取り外します。
7. ブレード (B) を取り外します。
8. ブレードの上部が下部になるように、ブレードを 180 度回転させます。
9. ボルトとナットでブレードを取り付けます。

DN39857,000037F-40-12APR21

ギヤケース通気穴の清掃

1. トラクターを安全に駐車します。(トラクターの取扱説明書の「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

重要： 損傷を防止してください。通気穴には障害物がないようにする必要があります。通気穴が塞がっていると、ギヤケースに圧力がかかり、ギヤケースから漏れが発生します。



LV23181—UN—23SEP14

A：**排気栓**

2. 排気栓 (A) を点検して、ほこりやごみで詰まっていないことを確認します。
3. 必要に応じて、排気栓 (A) を取り外し、溶剤で通気穴を清掃します。

DN39857,0000380-40-12APR21

仕様

スノーブロワの仕様

注記： 補充する前に、スノーブロワギヤケースから残りのオイルを抜き取ります。

項目	測定	仕様
47 スノーブロワ		
スノーブロワ / オーガハウジング	幅	120 cm (47 in)
スノーブロワ	重量	177 kg (390 lb)
スノーブロワギヤケース	容量	397 mL (13.4 oz)
54 スノーブロワ		
スノーブロワ / オーガハウジング	幅	137 cm (54 in)
スノーブロワ	重量	191 kg (421 lb)
スノーブロワギヤケース	容量	397 mL (13.4 oz)
59 スノーブロワ		
スノーブロワ / オーガハウジング	幅	150 cm (59 in)
スノーブロワ	重量	201 kg (450 lb)
スノーブロワギヤケース	容量	397 mL (13.4 oz)
60 スノーブロワ		
スノーブロワ / オーガハウジング	幅	150 cm (59 in)
スノーブロワ	重量	201 kg (450 lb)
スノーブロワギヤケース	容量	397 mL (13.4 oz)

注記： 仕様および設計は予告なしに変更する場合があります。

DN39857,0000382-40-12APR21

整備のお問い合わせ

John Deere™ 品質

LVAL38364—UN—21AUG12

John Deere 社製品の購入は、単なる購入ではなく、品質への投資を意味します。この品質は弊社の製品から、John Deere 販売店による部品や整備サポートにも及んでいます。このサポートはお客様の満足を維持するうえで必須です。

そのため、John Deere は、お客様の質問や問題が発生した場合の対応プロセスを開始しました。プロセスを進めるうえで以下の 3 つの手順をご案内いたします。

手順 1

取扱説明書を参照してください。

A. オペレータマニュアルには、お客様の装置の安全で正しい操作に関する多数のイラストおよび詳細情報が記載されています。

B. トラブルシューティング手順や仕様情報が記載されています。

C. 部品カタログ、整備、および技術マニュアルの注文情報が記載されています。

D. オペレータマニュアルで質問の回答が見つからない場合は、手順 2 に進んでください。

手順 2

販売店にお問い合わせください。

A. John Deere 取扱店は、質問に答え、問題を解決し、お客様の部品や整備のニーズを満たす責任、権限、能力があります。

B. まず、販売店の部品 / 整備担当の専門スタッフに質問や問題をお伝えください。

C. 部品や整備の担当者がお客様の問題を解決できない場合は、販売店の管理者または所有者にお問い合わせください。

D. John Deere 販売店において質問や問題が解決しない場合は、手順 3 に進みます。

手順 3

John Deere にお問い合わせください。

A. お近くの John Deere 販売店は、あらゆる懸念に対処する上で最も効率的な情報源です。ただし、取扱説明書を確認して販売店に連絡しても問題を解決できない場合は、John Deere にお問い合わせください。

B. 迅速かつ効果的なサービスのため、お電話をいただく前に次の情報をご用意ください。

最寄りの John Deere 販売店名。

本取扱説明書の表紙の内側にご記入頂いたシリアル番号。

お使いの装置のモデル番号。

本機の運転時間 (該当する場合)。

アタッチメントの問題の場合は、アタッチメントの識別番号。

C. 次に、1-800-537-8233 (米国およびカナダ) までお電話ください。当社のアドバイザーが取扱店と共同で懸案事項を調査します。米国およびカナダ以外の国に居住の場合は、以下の Web サイトにアクセスしてご連絡ください。www.deere.com/en/our-company/contact-us/

DN39857,0000386-40-21APR21

索引

A
A フレームマウント、取り付け 15-3

お
オーガギヤボックスオイルレベル、点検 35-1
オイル、ギヤ 35-1

き
ギヤボックスの通気穴、清掃 35-7

く
グリース 35-1

け
ケーブルシールド、取り付け 15-3

し
シグナルワード、理解 5-1
シュート、取り付け 15-1
シュートのケーブル、取り回し 15-2

す
スキッドシュー、交換 35-6
スキッドシュー、調整 30-1
スクレーパーブレード、反転または交換 35-7
スノーブロワ
　保管 26-1
スノーブロワギヤボックスのオイルレベル、点検 35-2
スノーブロワの上昇 / 下降 30-1
スノーブロワの操作 30-2
スパウト、調整 30-1

せ
せん断ボルト、交換 35-4

と
トラクターの準備...................................... 20-1
ドリフトブレード、取り付け 15-3

は
パーキングスタンドの使用 30-2

漢字
安全、高圧流体の回避
　高圧流体の回避 5-4
駆動軸、連結 20-1
駆動軸の取り付け...................................... 15-1
作業機、取り付け...................................... 20-1
仕様 40-1
識別番号、記録 00-1
整備
　シーズンの初め 35-1
　毎回の使用 35-1
整備間隔 35-1
排出シュート、回転 30-1
排出シュートのケーブル、交換...................... 35-4
油圧ホース、接続...................................... 20-2
輸送 30-3

メモ